

きずな



我孫子市少年センター便り 第175号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 深津祥子

我孫子市少年センター センター長 齊藤絵里香

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

令和4年が始まりました。本年も子ども達の見守りを、よろしくお願いいたします。

1月2日、3日に行われた箱根駅伝では、市内小中学校出身の選手の活躍が見られ、中央学院大学も健闘しました。多くの方がテレビの前で声援を送ったことでしょう。努力を惜しまず、一生懸命に頑張ることは、とても素晴らしいものです。



市内の小中学校では7日に始業式を迎え、1年間のまとめとなる3学期がスタートしました。私たちは、地域の見守りを通して、安全安心な環境の中で、何事にも一生懸命に頑張る子どもたちの姿が多くみられることを願っています。

昨年9～12月の街頭指導

少年指導員数・・・延べ230人
パトロール回数・・・33回

〈街頭指導時における青少年の行為・学識別状況〉

種別 區別	小学生		中学生		高校生		他学生		その他		合計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
帰宅指導	4		22	17	15	12					41	29	70
自転車無灯火					7						7		7
その他	1		1								2		2
合計	5	0	23	17	22	12	0	0	0	0	50	29	79

※怠学指導・喫煙・飲酒・たむろ・自転車二人乗りの指導はありませんでした。

困難を抱える子どもたちへの対応について ～少年指導員研修会～

11月25日（木）に湖北地区公民館において、少年指導員研修会を実施しました。少年問題アナリストの上條理恵先生をお招きし、困難を抱える子どもたちの現状とその具体的な対応について講演いただきました。この研修会は、我孫子市内の小・中・高校・特別支援学校の生徒指導主任の研修も兼ねており、学校現場での指導や声掛けなど、普段とは違った視点から、子どもたちとの関わり方を学ぶことができました。また、「人しか人を育てられない」「指導ではなく支援を」等の印象的なメッセージとともに、地域と学校が手を携えて子どもたちの支援を推進することの大切さを学びました。



第52回千葉県青少年補導（委）員大会

今年度の千葉県青少年補導(委)員大会は、浦安市での開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、関係者が一堂に会する形での開催は見合わせる事になりました。書面を通じて、浦安市の青少年補導員の活動、大会決議内容等が、報告されました。



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

少年指導員のつぶやき



今年度より、少年指導員として活動しています。緊急事態宣言などによって、子どもたちの学校生活は例年と違う形で行われています。しかし、そのような中でも、タブレット端末による学習が本格化しつつあります。私たちは、この時代の変化に応じて、生徒とのかかわり方を模索する日々です。

そして、街頭活動も例年と違い、十分に行えていないかもしれません。しかし、PTAの方々や地域の方々に見守られながら、子どもたちは元気に登校しています。改めて、学校と地域との協力が大切であると感じています。

人間関係が希薄になりつつあると言われていますが、今後も、子どもたちに寄り添いながら、地域の安全・安心のために活動していきたいと思えます。

我孫子中学校区
少年指導員 香川 智之

昨年度は、6月に入学式を行うという前例のない1年になりました。今年度も引き続き、子どもたちは、新しい生活様式にしっかりと順応し学校生活を送っています。時代の変化に学校も対応していかなければならないと感じています。

私は、今年度から、布佐中学校区のパトロールに参加しています。その活動の中で、学んだことが二つあります。一つ目は、日没後の暗い道など、普段気付かない部分を見ることができることです。二つ目は、指導員の方々と情報共有ができることです。

このように、普段感じていることを共有し、実際に歩いて目で確認することはとても大切であると感じています。

そして、次のパトロールでは、どんな発見があるのか楽しみでもあります。

布佐中学校区
少年指導員 佐藤 大地